（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	実践でつなぐ地域防災力
事業主体 （連絡先）	松本広域防火管理連合会 （松本広域防火管理連合会事務局　２５－１５９９）
事業区分	主となる区分⑷　安全・安心な地域づくり　関連する区分⑴　地域協同の推進
事業タイプ	ハード
総事業費	８０１,３５０円（うち支援金：　５３４,０００円）

事 業 内 容

松本市防火管理協会、塩尻市防火管理協会、安曇野市・東筑防火管理者協議会の３団体が実施している自衛消防訓練会の訓練機器を更新・共有した。

訓練参加者数の増加や会員数増加を目的に、119 番通報訓練に新たにデジタル技術を活用した機器を導入し、訓練参加者の受講効果を高めることとした。

＜実施日＞

松本市（9/10）・塩尻市（9/26）・安曇野市（10/1）

【119 番通報訓練の様子】

事 業 効 果

①３団体で共同購入し、各訓練で機器を共有することでコスト削減となり高額な最新機器導入が可能となった。

②新たな訓練機器は、訓練体験者１名のみならず、訓練エリアの多数の者が訓練内容を共有することが可能となり、時間的にも効率的な訓練が実現できた。

③当初の目標である３団体延べ４００人の参加者数には届かなかったが、参加者減少に歯止めをかけ、増加に転じさせることができた。

訓練参加者の推移

	松本市	塩尻市	安曇野・東筑	計
令和５年	１４５	５４	１１３	３１２
令和６年	１２５	５９	９７	２８１
令和７年	**１３０**	**６９**	９２	**２９１**

今後の取り組み

今後は、実施時期、実施会場など、参加者にとって参加しやすい開催時期等を検討するとともに、訓練内容や使用機材等の変更・更新を進めていきたい。

また、他の訓練メニューにおける初期消火訓練や災害シミュレーション訓練においても、AR・VR などのデジタル技術が盛り込まれた最新機器の導入検討や、訓練開催の周知方法も工夫し、訓練参加者の増加、ひいては、３団体の会員増加にもつなげていきたい。

【目標・ねらい】

①災害時の初期対応能力を向上させる
②地域全体の防災意識を向上させる
③訓練参加意欲を高め、訓練時間の短縮を図る
④訓練参加者の減少に歯止めをかけ増加させる

※自己評価【B】

【理由】
導入した 119 番通報訓練装置は、訓練参加者の体験イメージを高め、訓練効果の向上に寄与できた。しかし、当初設定した目標参加者数には至らず、今後、参加者増加などに向け更なる工夫・検討が必要である。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある